

# 平成22年度 浪速高等学校 学校関係者評価

平成23年 5月14日

学校目標	神社神道の精神である「浄明正直」を校訓とし、生徒の才能と適正を開発し、知・徳・体の調和のとれた全人教育を目指す。
------	--

分類	評価の観点	評価項目	評価・提言	改善点	
学校運営	私学の独自性	建学の精神・愛校心について	建学の精神が教職員、生徒、保護者によく浸透している。 在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。	・学校に誇りを持っている現れとして「学校が好き言う生徒」の割合が多い。 ・保護者の無関心層への働きかけに工夫がいる。	・PTA新聞「奈尔和」・「浪速通信」学年通信などの配布方法を改善する。
		開かれた学校	ホームページの活用状況		
	財務関係	財務諸表等を公開している。			
	授業公開状況	保護者へ授業を公開している			
	地域交流について	地域や地域住民との交流ができています。			
	危機管理	役割分担について	事故、災害時に対処する役割分担が明確にされている。	・地域として、災害時に若い力の結集が必要となる。防災意識の育成のためにも、高校生の災害救急体験会の参加を考えてもらいたい。 ・PTA参加のAED講習は意義のあるものであった。	・事故、災害時の携帯電話への緊急メール配信システムを工夫する。 ・地域と連携した防災訓練に参加していく。
		安全講習、訓練について	AEDの講習、防災訓練が十分に行われている。		
教育内容	生徒指導と学習活動	学校生活	生徒は学校生活を楽しんでいる。	・下校時のコンビニ前での態度や登下校時に道路を横並びで歩くなど通学マナーの悪い生徒がいる。よい指導法はないのか。 ・生徒が明るく元気で、校内に活気がある。特に挨拶のできる生徒が多い。 ・公開授業のアンケートが授業の質を高めることに役立って欲しい。	・朝の正門指導に加えて、外部指導員の導入。時間差のある放課後の校外指導を工夫する。 ・公開授業のアンケートや生徒の授業評価を参考資料として、授業の質を高めるため
		校則の遵守	生徒は校則を守り、服装、髪型など身だしなみをきちんとしている。		
		組織的対応	生徒の生活指導に組織的に対応する体制がある。		
		授業の質を高める	教科担当は、分かり易い授業を心がけ、授業の工夫、改善を心がけている。		

学校関係者評価委員 (6名)

- ・地域代表(2名)  
 大阪市住吉区山之内連合町会長  
 大阪市住吉区山之内二丁目町会会員
- ・保護者代表(2名)  
 浪速高等学校・関西大学連携浪速中学校PTA会長 (学校関係者評価委員長)  
 浪速高等学校・関西大学連携浪速中学校PTA副会長
- ・卒業生代表(1名)  
 浪速学園同窓会事務局長
- ・大阪国学院(浪速学院) 評議員代表(1名)  
 大阪国学院(浪速学院) 評議員代表